

様式第3号

議 事 録

会議名		令和5年度川西市総合教育会議(第2回)		
事務局(担当課)		政策創造課		
開催日時		令和5年7月22日(土) 14時00分から16時00分		
開催場所		川西南公民館(川西市久代3丁目16番29号)		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、治部委員、倉見委員		
	関係職員	中西教育推進部長		
	参加者	9名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加		
	事務局	企画財政部政策創造課 稲治課長、松永課長補佐、上田主任、三嶋 教育推進部教育政策課 星野主査、大下 教育推進部教育保育課 西山課長		
傍聴の可否		可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会議結果				

会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>本日はタウンミーティングですが、総合教育会議という位置づけにしています。総合教育会議には「教育委員会と行政の連携」と「教育大綱策定に向けた進捗管理」の2つの使命があります。教育大綱を策定する際に、私と教育委員会だけで話し合うのではなく、地域の皆さんと幅広く議論をしたいと思っています。また、何より子どもたちの意見を聞くべきだと考えていますので、本日のタウンミーティングまでに各中学校、擁護学校を回り、意見交流会を行いました。本日のテーマは意見交流会で中学生から提案があった内容を基に検討した「授業」、「給食」についての2つです。</p>
教育長	<p>有意義な場にしたいと思っています。</p>
坂本委員	<p>私自身4人の子どもがおり川西南中学校で育ちました。その子育ての間地域の方々にお世話になったので皆さんの声をお聞かせいただきたいです。</p>
治部委員	<p>心理士として、乳幼児から中学生くらいまでの子どもたちのサポートをしています。</p>
倉見委員	<p>玉川大学で教員をしています。</p>
事務局	<p>(以下の説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.事務局よりお願いとお知らせ 2.本日の流れの説明 3.テーマ設定のいきさつについて
市長	<p>【テーマ1:授業について】</p> <p>本日のテーマである授業については大きいタイトルですが、意見交流会で子どもたちが学びのなかで様々なことを感じていることを知りました。本日参加されている皆さんが「授業」についてご自身が感じられたこと、保護者として感じたこと、地域の一員として感じたことを本日はお聞かせいただきたいと思っています。</p> <p>今回のテーマである授業について教育長から補足をお願いします。</p>
教育長	<p>意見交流会で子どもたちから少人数授業についての話がありました。メリットは一人一人をゆっくり見れることです。デメリットは先生が2人いるので教え方に差が出る、子どもたちからの意見が少なくなってしまう、新たな気づきが得られないことなどがあります。</p> <p>また、オンラインの授業については試行錯誤しながら進めてきました。対面を希望する子、オンラインを希望する子がいて配分が難しいです。最近は学校に行きにくい子どもたちに配信を行っていますが、実施できていない学校、学年もあることから難しさを感じています。</p>
市長	<p>子どもたちにとってどんな授業が良いのか私たちも悩んでいます。少人数の際の子どもたちの分け方等についてご意見をお聞かせいただきたい。</p>
参加者	<p>子どもが中学校を卒業しておりますので、今日の会に出席しても良いのかと考えていましたが、自分の経験を次世代に活かせればと思い出席しました。子どもは中学校が嫌いでした。中学三年生の時に数学の先生からクラスの大半が寝ていることに対し、授業は少しやって残りは自</p>

発言者	発言内容等
	<p>習にするぞとの発言がありました。他方で、社会の先生は授業内容が良かった。先生によって授業を工夫したり、寝ていることを子どものせいにしてたりとあつちりますので、他校の先生の授業を受けるのは良いのではないかと思います。</p>
市長	<p>教育は長い目線で見ることがありますので、過去のことをお話いただくことは非常にありがたいです。先生の質については差があると思いますが、教育長の意見をお願いします。</p>
教育長	<p>率直にお話をいただきありがとうございます。先ほどの件は学校全体で課題を把握するシステムを構築すること、それを教育委員会へも届けてもらうことが重要です。ただ、学校現場も教員の成り手が少なく、難しい状況があります。例えば35人に授業をする際、35人を注目させるのは非常に難しいです。</p> <p>文部科学省からは個別最適な学び、協働的な学びという提案が出ています。小学校低学年は学びへの意欲が非常にありますが、上の学年になるにつれて受け身になっていきます。そのため、それぞれにあった学びが必要です。一人一台タブレットがありますので、全員が同じ画面を開くのではなく、自分に必要なことを自分で調べることが重要です。</p>
市長	<p>先生の教え方のテクニックが、皆さんの求めるレベルに達しているのかという検証は続けていかなければならないという課題があります。そういった声が学校現場に届き、他の先生の授業を見学するなどして改善していくことは、先生にとっても良いことではないかと思っています。</p>
倉見委員	<p>教員の成り手が少なく、質が落ちているという声はあります。しかし、教員の質の問題は以前からありました。また、そもそも一人の教員が1クラス35人を教えるというのは難しいことです。今は一人一台タブレットがありますので、子どもたち自身で工夫できるようになりました。これからの時代に合った教育になっていくだろうというのが私の見解です。</p>
市長	<p>今いただいたご提案は教育委員会としても受け止めないといけないと思います。今のお話をうけて、どのように感じるか他の方にも聞きたいです。</p>
参加者	<p>私は3人の子供がいます。学校に行きにくくなっている子供が増えていると思っています。オンラインを使って凄くことをしなくても、違う部屋や家庭に通常の授業を配信するだけで、少し休んでもまたすぐ学校に行きやすくなるようになるのではと思いました。</p>
市長	<p>川西市は令和3年の夏頃にオンラインでも出席にしようと教育長が判断されました。ただ、オンラインの授業レベルには悩みがありました。</p>
教育長	<p>学校に行きにくい子どもは非常に増加しています。また、その子どもが低年齢化していて、そこに課題意識を持っています。学校は魅力的でないといけませんし、柔軟に子ども達の意見を聞こうと思います。</p>
治部委員	<p>私は心理士なので大きなスケールではなく、子どもたち一人一人を見ています。不登校は自立に向かうためのプロセスが重要であると言われていています。授業場面においては、聞く機会よりも話す機会が大切です。また、学校が面白いと思わせることも大切です。</p>
市長	<p>全ての小・中学校にサポートルームを設置していますが、この取り組みを実施している自治体</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>は全国でも僅かしかありません。いきなり100点を目指さなければ様々なことができると思っています。</p> <p>中学校には以前交流会がありました。今は交流会はできないので、アンケートを取ってみたところ、不登校が多いと校長先生から返答がありました。また、中学校は学力の差が出てくる頃だと思っています。成績の良い子ども、良くない子どもと一緒に授業を受けて、その中で競争が生まれてくるものだと思います。</p>
参加者	<p>児童に対する研修を受けまして、全員が同じレベルの授業を受けるのもいいのではないかと思います。</p>
参加者	<p>不得意なことへの細かな指導をお願いしたいです。予習、復習など、学校で厳しく指導してほしいです。</p>
参加者	<p>私たちの時代は先生は何でも知っていて、尊敬できる存在でした。今は子どもたちに優しすぎると思います。先生と子どもでコミュニケーションをとる必要があると思っています。タブレットを渡しているとのことですが、ものを大切にすることや我慢をすることも教えてほしいです。</p>
参加者	<p>不登校が多いとのことですが、原因を追究する必要があると思います。また、少人数授業についてですが、習熟度で分けることはあっていいと思います。全体の底上げが必要だと感じています。</p>
市長	<p>少人数授業については子どもたちから様々な意見が出ていまして、悩みがあるのだと思っています。</p>
参加者	<p>子どもたち全員を同じ型にはめるのは無理があると思います。セミナーなどのインプットが主のものは参加しても意味がなく、効率が悪いと感じています。動画で自分の都合に合わせて、分からないところをもう一度見たりするほうが効率は良いので、ミックスするのはいいと思います。知識はタブレットで効率よく得ればいいと思っています。また、自己表現すること、集団でやるべきことを考えること、最初の動機付けを学校には期待したいです。</p>
坂本委員	<p>モチベーションがあれば勉強はできると思います。過去に遡って学習し直すことは、周りの目を気にしてしまいます。学校教育でも、過去に遡って学習することが当たり前の雰囲気であればいいのではないかと思います。頑張ろうと思える空気感が大切です。</p>
教育長	<p>一番大切なのは意欲を培っていくことです。教育は逆になっていて、例えば宿題として漢字100回書いてきなさいというと、100回書くことが目的になっています。幼児教育・保育で寝ている子はいません。そこに教育課程をあてはめることが大切だと思っています。また、子どもに甘すぎるのではないかという声がありましたが、何かトラブルがあった際にもう少し子どもを信じて当事者同士で解決できるようにする必要があります。</p>
市長	<p>いじめについて、以前は継続的なものがいじめでしたが、今は1回でもいじめになります。いじめが解決しているかが問われますので、先生が介入し、終わりとしなにかぎり解決とはなりません。そのため、いじめには先生の介入が必要になっています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>【テーマ2:給食について】</p> <p>次のテーマとして、どういった給食にしていくかご意見をいただきたいです。喫緊の課題は食費の値上がりについてです。現在すべてを喫食する場合で小学校が1食当たり250円、中学校が290円となっていますが、赤字になってしまっていて、赤字部分は市が補填しています。値上げしても給食を良くしたほうがいいのかなど、みなさんの意見をお聞かせください。</p>
参加者	<p>中3の夏から給食になりましたが、子どもはお弁当が良いと言っていました。値上げは構わないと思います。</p>
参加者	<p>私自身給食を食べましたが、美味しかったです。小学校は牛乳を希望制にして、ほしい人がお金を払えば良いと思います。中学校給食のご飯は私でも多いと感じましたので、各自ご飯だけ持参する方法が良いのではと思いました。</p>
参加者	<p>給食を食べましたが、おかずのボリュームが足りないのではと感じました。また、スープは味が薄いと感じました。それに対しご飯が多く、これはご飯が進まないのではないかと思います。</p>
参加者	<p>食べる量は子どもによると思いますので、現場で調整すると思います。しかし、ふりかけは持ち込ませてあげてほしいです。味が薄いことに関しては、もう少し濃くしても子どもは病気にならないと思います。</p>
参加者	<p>川西市は健康食が多いので、子どもから良いと思われていないです。また、カレーはスプーンを持参させられていますが、忘れたら箸で食べるよう先生から言われたことがあります。</p>
参加者	<p>ご飯の持ち込みには賛成です。</p>
参加者	<p>給食のメニューについて、増やしてほしいとの意見があるとのことですが、私は十分だと感じました。フードロスについては調整して出ないようにしてほしいと思います。持ち込みは1件認めると、止まらなくなる可能性がありますので、慎重にしてほしいと思っています。</p>
参加者	<p>給食はぜひ継続してほしいと感じています。私の家庭は共働きなのでお弁当を作るのが大変です。給食で栄養バランスの取れた食事をとってほしいです。給食費について、持続可能な値上げは良いと思いますが、質を上げるための値上げについての方向性を聞きたいです。</p>
市長	<p>お腹をいっぱいにするためにご飯を大盛りにするのではなく、おかずを増やしてご飯を適量にするなど、そういった質を確保するための値上げです。</p>
教育長	<p>元々給食はみんな一律のものを食べるということで、お弁当には中々勝てませんが、追いつけるように頑張る必要があります。給食の難しい部分は栄養、安全、価格です。栄養については、現在のご飯と飲み物は牛乳などのようなスタンスは変える必要があると感じています。また、ご飯でお腹を膨らませるのも考え直す必要があると感じています。</p>
市長	<p>メニューを変えるのであれば、子どもたちや保護者の意見を聞く必要があると思っています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>【自由テーマ】</p> <p>生徒・児童との意見交流会で様々な意見がでましたが、これにかぎらず日頃皆さんが感じる教育に関する課題があれば聞きたいです。</p>
参加者	<p>校長先生の勤務年数が気になっていました。小学校の時に校長先生が2年で異動になりました。もう少し長くないかと学校に聞いたが難しいと言われました。逆に中学校は、校長先生の勤務年数が長いです。また、自分の子どもの経験として、無言清掃やベル着は必要なのかと感じました。</p>
教育長	<p>校長の人事については、特殊なケースもちろんありますが、だいたい3年くらいを目安にしています。中学校は管理的な部分が強いです。過去にすごく中学校が荒れていた時期がありました。その頃に学校が取ったのが管理的な教育方法です。ただ、今は見直すべきだと感じています。また、これらの決まりは子どもたちの意見を聞いていません。子どもの意見を聞きましようという社会の流れがありますので、学校にはその姿勢が必要です。子どもたちに「言ってもしょうがない」という考えをすり込んでいくのは違うと思っています。</p>
参加者	<p>小学校の安全活動についてです。今は旗当番が少なくなっているの、中道の子どもの行き来が危ないと思っています。道路に白線等が1本あればどこを通れば良いのか分かりやすいと思います。</p>
市長	<p>道路の提案は毎年いただくので、少しでもできることはしていきたいと思っています。私も子どもがいるので旗当番をしていますが、親として無理なくできることをやっていくが必要であると思います。</p>
倉見委員	<p>校長先生の人事については、文部科学省でも一定期間を確保すべきだという方針が出ています。給食については、安全面や栄養面もちろん大事ですが、美味しいことがもっと大事です。皆さんに給食費はいくらまで出せるのかお聞きしたいです。</p>
参加者	<p>100円アップです。</p>
参加者	<p>500円までなら大丈夫です。</p>
参加者	<p>月10,000円以内くらいです。</p>
参加者	<p>子どもには美味しいものを食べさせたいから500円ほどです。</p>
参加者	<p>払える家庭と払えない家庭があると思いますので、慎重に調整する必要があります。</p>
参加者	<p>400円です。</p>
市長	<p>給食費が上がった場合、生活が厳しい家庭は支援の対象にする必要があると思います。最後に各委員のお話を聞きたいと思います。</p>
治部委員	<p>無言清掃やベル着の話で気になったこととお話させていただきたいです。減点方式ではな</p>

発言者	発言内容等
坂本委員	<p>く、加点方式にすべきだと思います。減点方式はで道德心が育たないです。一人一人発達スピードは異なっていますので、その子に応じたスピードで成長していくのが発達の原則であると思います。また、道德心という言葉はキーワードだと感じています。協働できる環境があれば道德心も成長すると感じています。</p> <p>大阪のある小学校では廊下が右側通行になっていまして、子どもたちはぶつかるからルールがあるんだと自分たちで気づきました。その結果、ぶつからないためにはどうしたらいいかを考えるようになりました。ベル着や無言清掃も子ども達がなぜそれをする必要があるのかを考えれば、また違ってくるのではないかと思います。いきなり子どもたちに考えさせるのは難しいので、大人がきっかけを作るのが大切です。また、子どもたちの意見を聞く機会は大切だと思います。</p>
倉見委員	<p>学校のルールはその時代に応じた説明ができないと見直しの必要があると思います。</p>
教育長	<p>もう少し子ども主体にしないとイケません。自分の好きなことだけやっていくのではなく、自分と違った意見も聞いていくことが大切です。</p>
市長	<p>自分が幸せになる、自分の周りも幸せになる、そのためにはどうすればいいのか、複数の意見を聞いて正解を見つけることが大切ですと中学生との意見交流会で話しました。今、様々な意見が Twitter で寄せられます。なぜかと考えましたが、手っ取り早く市長にお願いしたいという考えがあるのではないかと考えています。そうではなく、みんなで議論した結果を声としてあげることによってルールは変わっていくものであると思っています。</p> <p>本日お話いただいたものをエッセンスに教育大綱を作っていきたいと思っています。パブリックコメントにもまたご意見いただければと思います。</p>